

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 2022年 12月 29日

事業所名：co・co・ai 児童発達支援

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	十分なスペースを確保している。	はい…7名 どちらともいえない…1名 わからない…1名	今後も継続して安全に利用できるよう整備をしていく。
	2 職員の適切な配置	人員基準を遵守し、支援の質を高める為、加配人員の配置を行っている。	はい…6名 どちらともいえない…1名 わからない…2名	人員の配置基準を維持していく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	2Fでのサービス提供を行っている為、エレベーターの設置、段差が無い等バリアフリーの整備をしている。	はい…7名 どちらともいえない…1名 わからない…1名 ・どの部屋に行けば良いか分からない。	職員が部屋まで連れて行っている。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の清掃・消毒を行っている。	はい…8名 わからない…1名	引き続き、安心・安全な空間の確保を目指していく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	支援の内容等、業務について職員間で常に意見交換を行っている。	/	職員間での連携を深め、日々の振り返りと共に業務の改善を進めていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者評価は行っていない。	/	質の良いサービスを提供できるように工夫していきたい。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	社内研修の実施。また、スキルアップを目指し、社外研修への参加も実施している。	/	今後も継続してスキルアップを図っていく。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	アセスメントに沿った支援計画の作成を考えている。	はい…7名 どちらともいえない…1名 いいえ…1名	保護者のニーズや課題に沿った内容がわかりやすい計画の作成に努める。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	障害特性を踏まえ、計画を作成している。	・今の息子に合った支援計画なのか、わからない。	固定化しないよう様々な取り組みを考え、支援計画の作成に努める。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	具体的に明示できるような内容を考えて計画が作成できるよう努めている。		常時見直しを図り、具体的な計画にできるよう努める。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画に沿った支援の実施を行っている。	はい…7名 どちらともいえない…1名 いいえ…1名	職員間で課題を共有し、見直しを図りながら計画の実施に努めていく。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	個人と集団でのプログラムを立案している。	はい…8名 わからない…1名	職員間で話し合い、目標設定を行っていく。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	感染症の流行の為、外出は極力控えているが、できる範囲内での季節行事の実施等に努めている。		1つの遊びでも飽きがこないよう変化を持たせた活動を実施していきたい。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	ルールや前回わかりにくいと感じた部分を改善し、支援に繋げる。		充実した時間となる様、興味関心のあるプログラムを考え支援していく。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	活動内容やスタッフの動きを書面に起こし、共有している。		書面を作成すると共に職員間で動きを確認し、支援の実施にあたる。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	個人記録に気付いた点を記入し、情報の共有を図っている。	個人記録の記入方法を精査し、記入方法の統一を図る。	
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	個人記録、支援記録に記入し、共有すると共に会議で話し合いを進めている。	日々の中で気になる点については、その都度話し合いを行い、必要に応じて会議で検討していく。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6ヶ月に1回実施。必要に応じて適宜実施する。		相談内容に応じて適宜対応していく。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	感染症の流行の為、実施が難しい。電話等でのやり取りを管理者が行っている。	担当者会議があれば今後参加していく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	対象者無し	対象者がいれば連携していく。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	対象者無し	対象者がいれば連携していく。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	直接的な集まりは無い。電話連絡等のやりとりにより、情報の共有を行っている。	今後も積極的にやり取りを行い、情報の共有を図る。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	対象者無し	対象者がいれば情報の共有を図っていく。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	研修が実施されている際は積極的に受講している。	受講の機会があれば、今後も積極的に参加していく。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	交流や活動の機会は無し。	はい…3名 わからない…4名 いいえ…2名 ・コロナもあるので仕方がない。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	実施は考えていたが、感染症流行の為、実施には至っていない。		今後、状況を見て検討していく。
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に説明をしている。必要に応じて、その都度説明を行っている。	はい…7名 どちらともいえない…1名 いいえ…1名	わかりやすい説明を心がけ、説明を行っていく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画を示しながら、内容の確認を行っている。	はい…7名 どちらともいえない…2名	具体的にわかりやすくできるように説明を行っていく。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	実施には至っていない。その都度、必要に応じて対応している。	はい…3名 どちらともいえない…2名 いいえ…2名 わからない…2名	その都度、対応していく。個別に相談があれば対応していく。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	定期的に保護者との面談・モニタリングを行っていると共に、連絡帳のやりとり、送迎時に状況の説明も行っている。必要に応じて電話連絡等行っている。	はい…8名 どちらともいえない…1名	日々の様子を伝え、細かい内容については電話連絡等でやり取りを行っている。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	日常生活面等、相談を受けた際は、その都度対応している。	はい…5名 どちらともいえない…2名 いいえ…2名 ・面談はないですが、帰りに今日の事や困った事などアドバイスで話を聞いてもらっている。	相談しやすい関係性を築いていける様、努めていく。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	今年度は1回開催。	はい…2名 どちらともいえない…1名 いいえ…4名 わからない…2名	今後、行事等を通じて交流の場を作っていく。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	重要事項説明書にて窓口担当、苦情対応シートを活用する旨、明示している。	はい…5名 どちらともいえない…1名 わからない…3名	迅速に誠意を持って対応していく。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	視角支援・環境の整備により、わかりやすく伝えるよう考慮している。	はい…8名 どちらともいえない…1名	特性に合わせて伝わりやすい方法を考えていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月のお便り・ブログ等を発行・発信している。 行事の際は行き先、持ち物等伝達している。	はい…8名 わからない…1名 ・Co. co. ai通信、楽しみにしています。 ・もう少しホームページでのブログ更新があると嬉しい。	ブログなどの周知を改めて行っていく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の保護に努め、取り扱いには十分配慮している。	はい…7名 わからない…2名	個人情報の重要性を認識し、適正な管理と保護に努める。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルは作成整備しているが周知不足。	はい…7名 どちらともいえない…1名 わからない…1名	改めてマニュアルを見直し、周知に努める。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	職員間での火災時の対応の確認は行ったが、利用者を交えての実施は行っていない。	はい…3名 いいえ…2名 わからない…4名	定期的実施していく。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止マニュアルによる研修の実施。		今後も定期的実施していく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束は行っていない。身体拘束について契約書内で説明を行っている。		身体拘束については行わない。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食事はお弁当持参。アレルギー情報については聞き取りを行っている。		保護者からの聞き取りを継続して行う。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事例は報告書を作成し、職員間で回覧、会議で共有している。		事例を基に改善共有を行っていく。